

# 令和6年度 久喜市地域公共交通会議（埼玉県久喜市） （地域公共交通計画策定事業）

## 公共交通の概況・地域の特徴

久喜市は、東北道、国道4号及び国道122号が縦断し、東西方向に圏央道及び国道125号が横断している。また、JR宇都宮線、東武伊勢崎線及び東武日光線の3路線が通り、市内に5つの駅を有しており、高度経済成長期以降、主要な道路や鉄道駅を中心とした住宅開発が進んだことにより、東京都心のベットタウンとして発展してきた。本市の公共交通は、鉄道、路線バス、タクシーが運行され、路線バスについては、久喜駅をはじめ、鉄道駅へと接続する路線が市内・市外に延びている。今後も、増加する高齢者などの交通弱者を中心とした市民の日常生活を支える交通手段を確保していくことが課題となっている。

## 地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

公共交通を取り巻く環境は、人口減少に伴う利用需要の縮小や運転手不足、維持費や人件費の高騰などにより、厳しい状況であり、本市においても同様である。

また、少子高齢化の進行に伴い、交通弱者の日常的な外出手段として、公共交通の重要性は、ますます高まっていくものと考えられ、「第2次久喜市総合振興計画」においても、「安全で快適な道路の整備と公共交通の利便性を高める」を施策の一つとして掲げている。本市における公共交通の現状や課題、今後のまちづくりを踏まえ、「久しく喜び合う住みやすいまち 久喜 を支える公共交通システムの実現」を目指し、利便性の高い持続可能な公共交通を維持するための取組みを維持するため、「久喜市地域公共交通計画」を策定する。

## アピールポイント

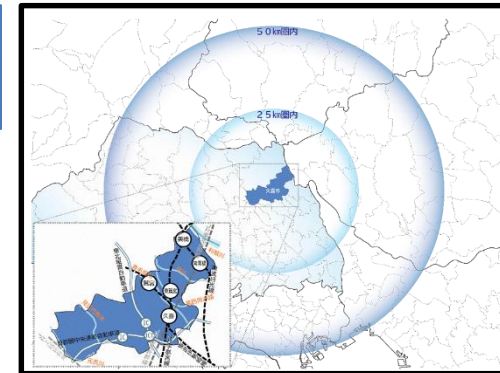
- ・アンケート調査(3,000人対象)を行い、市民の利用実態やニーズを把握した。
- ・運行事業者にヒアリングを行い、運営状況や公共交通への考え方について調査した。
- ・市の置かれている現状、アンケート・ヒアリング結果等を踏まえて、本市の公共交通の課題を整理し、目指す姿(基本理念)、方向性を以下の通り設定した。
- また、これらを実現するための具体的な取組みを検討・設定し、目標値を設定した。
- ・持続可能な公共交通システムの構築を目指すため、具体的な取組みのうち、市が運行する公共交通の再編を重点目標として掲げた。

公共交通の基本理念 久しく喜び合う住みやすいまち 久喜 を支える公共交通システムの実現

基本方針1 こどもから高齢者まで、誰もがわかりやすく使いやすい公共交通への改善

基本方針2 広域アクセスやまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築

基本方針3 新たな技術やサービスの活用による公共交通の利便性向上



面積	82.41km <sup>2</sup>
人口（R6.4.1時点）	150,756人
15歳未満	15,891人
65歳以上	47,767人
高齢化率	31.7%

## 協議会開催状況

（令和6事業年度に係るもの）

- ・令和5年度第1回（令和5年8月28日）アンケート調査等について協議
- ・令和5年度第2回（令和6年3月13日）アンケート調査結果、公共交通の現状と課題について報告及び協議
- ・令和6年度第1回（令和6年7月31日）令和6年度の検討内容及びスケジュールについて協議
- ・令和6年度第2回（令和6年10月18日）地域公共交通に関する施策・事業の検討(案)について協議